令和８年度　第２回　浜松市立丸塚中学校運営協議会

令和８年９月１８日（金）１３：３０～１５：３０
会場　丸塚中学校　図書室

司会：山下　孝二（教頭）　記録：石津谷　訓子（CS ディレクター）

１　開催要件の確認

２　会長挨拶

３　校長挨拶

４　授業参観

５　議長の選出

６　前回会議録確認

７　熟議（議長：　　）
(1) 地域での過ごし方について
(2) 交通マナーについて
(3) 本校のいじめの状況について

８　報告
・田嶋コーディネーターより

９　今後の予定（山下教頭）
・第３回運営協議会　令和８年１１月１８日（水）１０：３０～
・第４回運営協議会　令和９年　２月１６日（火）１３：３０～

１０　閉会の言葉

学校運営協議会　参加者名簿（敬称略）

○ 運営協議会委員

・稲垣邦圓（いながきほうえん）　・尾上 弘（おのうえひろし）　・名倉善郎（なぐらよしろう）

・酒井里江子（さかいりえこ）　・鈴木厚子（すずきあつこ）　・湯山紀美代（ゆやまきみよ）

・青木優衣（あおきゆい）　・佐藤香澄（さとうかすみ）　・田嶋節子（たじませつこ）

（学校支援コーディネーター）

○ 学校職員

・校長　渡瀬益章（わたせますあき）　・教頭　山下孝二（やましたこうじ）

・担当教員　平野大輔（ひらのだいすけ）　・CS ディレクター　石津谷訓子（いしずやさとこ）

MEMO

令和８年度　第１回　丸塚中学校運営協議会　会議録（要点記録）

１　開催日時　　令和８年４月２８日（火）　１３時２５分から１５時２５分まで

２　開催場所　　丸塚中学校　図書室

３　出席委員　　稲垣　邦圓、尾上　弘、酒井　里江子、
鈴木　厚子、湯山　紀美代、青木　優衣、佐藤　香澄
田嶋　節子（学校支援コーディネーター）

４　欠席委員　　名倉　善郎

５　学校　　渡瀬　益章（校長）、山下　孝二（教頭）、平野　大輔（CS 担当教諭）
石津谷　訓子（CS ディレクター）

６　教育委員会　　磯部　志保（地域連携課）

７　傍聴者　　なし

８　会議録作成者　CS ディレクター　石津谷　訓子

９　議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、昨年に引き続き尾上副会長を推挙し、全員異議なくこれを承認した。また尾上副会長が欠席の場合は、酒井委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

１０　協議事項
（１）令和８年度学校運営基本方針について
（２）学校いじめ防止基本方針に関わる取組について
（３）学校運営協議会の自己目標について
（４）夢育やらまいか事業の意見書について
（５）ラーケーションについて

１１　会議記録

司会の教頭山下から、委員総数９人のうち８人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（１）令和８年度学校運営基本方針について

議長の指示により、校長渡瀬から今年度の学校運営方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

・　授業参観で、来客があれば生徒は少し緊張するイメージがあったが、にっこり笑

ってくれたりして和やかな雰囲気だった。先生との距離も近く、授業中も分からないことは、分からないとはっきり答えていた。（酒井委員・田嶋委員）

・　昨年度の「対話・信頼・感謝」という風土作りを続けてきたおかげで、自己肯定感が４％上がった。謙虚さを美徳とした日本人は、元々低くなりがちだが、７０％はすごいと思う。ただ、数値目標にならないように、自己肯定感が低い子のケアをしながら、今年度の「対話・合意・調和」を進めて欲しい。（尾上委員）

・　入学式で校長先生が「自分の事を好きな人？」と挙手を求めた時、多くの生徒が手を挙げていた。書面での回答より、あの場で挙手することは勇気がいるだろうから、自信がついてきた表れだと思う。（田嶋委員・尾上委員）

・　先生の平均年齢の若返りも、生徒との距離が近くなって良い方向に向かえば、部活動の成績にも期待できる。（青木委員）

・　３年間の学校経営構想を通して、授業では生徒同士仲良く和やかで、先生の話をしっかり聞いて学ぶ意思を感じることができた。黙想を続けているのも、心が落ち着いて物事を判断する力になっていると思う。（稲垣委員）

・　校長先生が式典等で、メッセージを文字にして貼り出してくれるのは、視覚的に説得力がある。（酒井委員）

以上の協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（２）学校いじめ防止基本方針に関わる取組について

議長の指示により、平野から、いじめ防止基本方針に関わる取組について説明があり、委員からは以下の発言があった。

・　いじめアンケートの後に、必ず全員二者面談をすることはすごく良いと思ったが、丸塚中学校独自の取組なのか。（鈴木委員）

→　やっている学校もあるとは聞いている。アンケート結果で「赤アラート」が出た子だけをピックアップして面談することはしない。アンケートには大丈夫と答えていても、面談することによって出てくることもある為、全員を対象に二者面談している。（平野・渡瀬校長）

・　卒業式で、先生への感謝の言葉を贈っているのを見た時、本当に先生との信頼関係が築けていると感じた。（稲垣委員）

・　去年卒業した生徒で、部活動の中でいじめがあり、先生と何度も対話をしたが、分かってもらえず、結局部活を辞めたという話を聞いた。（佐藤委員）

→　どちらかの味方をすることもなく、中立の立場で学校は何度も話し合いをしたが、最終的な判断は御自身にお任せすることになった。良いことばかりではないので、正しい情報を伝えて欲しい。（渡瀬校長）

・　保護者の立場からすると、悪い噂を聞いていたので、学校側がこんな対応をしてくれていると知ることが出来て良かった。（佐藤委員）

・　学校が体制を整えて 100%でやっているつもりでも、中には合わない子もいる。だからこそ、地域の方々から見たり聞いたりしたことを、この場でどんどん出して

欲しい。（稲垣委員）

・　発達支援学級の生徒は通常学級に籍はあるのか。また、行事などは通常学級で参加しているのか。（田嶋委員）

→　通常学級に入れる生徒は、練習から参加する。学校側も在籍のクラスで参加出来るように働きかけるが、出来ない生徒は見学する形をとる。修学旅行などで、班別行動も一緒に過ごす子もいる。行事だけでなく、規定の範囲内で通常の授業（体育・社会等）に参加する子もいる。（渡瀬委員）

・　以前は発達支援学級と通常学級との交流がなかったが、今は活発にあるので、通常学級の生徒にとっても、労りの精神や思いやりの心が育まれてとても良い事だと思う。（稲垣委員）

・　地域からすると、一見穏やかに見えていても、本当の学校の中の様子は分からない。保護者の生の声がこの場で聞けると、地域としても中学生を見守る意識が高くなる。（湯山委員）

以上の協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（３）学校運営協議会の自己目標について

議長の指示により、教頭山下から、昨年度の自己評価と今年度の目標について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

・　学校からの依頼により行事の保安要員や、花壇の整備などのボランティア人材を生かし、学校支援活動を進めて行こうと思う。（尾上委員）

以上の協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（４）夢育やらまいか事業の意見書について

議長の指示により、教頭山下から、昨年度の実績報告があり、委員からは、以下の発言があった。

・　これまで通り生け花教室や、工作活動の材料費など、発達支援学級やまなびの教室の生徒の為に、有効に使って欲しい。（尾上委員）

以上の協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（５）ラーケーションについて

議長の指示により、教頭山下から、別紙資料に基づいたラーケーションの説明があり、委員からは、以下の発言があった。

・　この取組は、今年度から全国で始まったのか。（稲垣委員）

→　浜松市独自のもので、愛知県など以前からやっている所もある。（山下教頭）

以上の協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

○　その他報告事項等

教頭山下から、次回運営協議会は令和８年９月１８日（金）、第３回運営協議会は

令和８年１１月１８日（水）、第４回運営協議会は令和９年２月１６日（火）に開催予定である旨の報告があった。